

ご 通 知

日本被害者学会第33回学術大会を、2023年5月20日（土）に、同志社大学今出川キャンパス（良心館3F305教室）にて開催いたしますので（**対面方式**），ご参加ください。レジュメは、後日、学会Webサイトの会員専用サイトに掲載致します。

日 本 被 害 者 学 会

I 開会の辞（9:30～9:40）

II 個別報告（9:40～12:10）

（司会） 獨協大学 柴田 守 氏

- 1 「市区町村における犯罪被害者等支援施策の現状と課題
—全国市区町村に対するアンケート調査結果から」 白梅学園大学 尾崎 万帆子 氏
- 2 「被害者実名発表および実名報道の法的検討について」
同志社大学・弁護士 四方 奨 氏

（司会）中央大学 堤 和通 氏

- 3 「COVID-19 パンデミックへの対応がもたらした機会理論の進展と被害予防策」
常磐大学 山梨 光貴 氏
獨協大学 柴田 守 氏
- 4 「犯罪被害者の損害回復についての日米の比較」 東洋学園大学 伊比 智 氏
- 5 「受刑者の被害者に対する損害賠償の実効化—政策提言に向けて—」
慶應義塾大学 太田 達也 氏

昼 食（12:10～13:10）

III 総 会（13:10～13:25）

IV 基調講演（13:35～14:35）

「刑罰論における被害者の地位—拘禁刑創設・被害者保護・修復的司法をめぐって—」

早稲田大学名誉教授 高橋 則夫 氏

V シンポジウム (14:50~17:30)

「潜在化している被害者への対応」

コーディネーター 名古屋大学 宮木 康博 氏

- 1 「潜在化している被害者に関する統計調査と捜査の困難性」
法務総合研究所 村橋 摩世 氏
- 2 「〈潜在化している被害者〉の声を聞き取る一司法面接の取組み」
国立研究開発法人理化学研究所 仲 真紀子 氏
- 3 「法的支援の観点から一女性の被害を中心に」 長谷川法律事務所 長谷川 桂子 氏
- 4 「障がい者の被害が潜在化する要因について」 帝京平成大学 大塚 淳子 氏

VI 閉会の辞 (17:35~17:40)

懇親会は開催致しません。

大会当日、会場では個別報告やシンポジウムのレジュメは配布致しません。学会の Web サイトより予めダウンロードしたうえで会場にご持参ください。大会当日に Web サイトにアクセスが集中するとサーバーがダウンするおそれがありますので、前日までにダウンロードするようお願い致します。

学会の様子はオンライン (Zoom) でも配信致します。現地参加できない方は、事前にお送りした URL 又は ID とパスワードで視聴してください。

学会員でない方も、所定の手続と傍聴費の納入をして頂ければ、傍聴することができます。手続の詳細については、学会 Web サイトをご覧ください。

-
- ◇ 年会費の納入をお願いします。**年会費は、下記の口座までオンライン振込または銀行 ATM からの振込でお願いいたします。**年会費は 6,000 円です。未納の年度がある場合は、理事会の決定に基づき未納年度分から先に充当していきます。

年会費の納入状況は、学会からお送りしたメールに記載がございます。

(年会費払込・振込口座)

ゆうちょ銀行から振り込む場合 ゆうちょ銀行 00110-1-548976 日本被害者学会

他の金融機関から振り込む場合 ゆうちょ銀行 〇一九店 当座 0548976 日本被害者学会

※払込・振込手数料はご負担頂きますようお願いいたします。

- ◇ ご不明な点は学会事務局までお問い合わせください。

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 帝京大学法学部内

E-mail otoiawase@victimology.jp

学会 Web サイト <http://www.victimology.jp/index.html>